

## ご あ い さ つ

皆様方には、平素から大変お世話になり、厚くお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方々に、哀悼の意を捧げますとともに、罹患されておられる方々の一日も早いご回復を心より願っております。

また、長期にわたり感染拡大防止にご協力いただいている全ての皆様に、深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、国内で感染者が確認されてから1年と半年が経過し、ようやくワクチン接種が進展してきましたが、感染力の高い変異株に置き換わりが進み、予断を許さない状況が続いていることから、日常生活に新しい生活様式を取り入れ、今後も感染拡大防止に最大限の注意を払っていかねばなりません。

幾度となく繰り返された外出自粛要請や休業要請などで多くの事業者は我慢を強いられ、疲弊し、廃業せざるを得なかった方もおられます。

私はこれまで、地域の切実な声を背に県の担当部局と議論を重ねてきました。今年度に入ってから、緊急対策を実施するための2度の臨時議会や6月定例会で大規模な予算を編成し、県のコロナ対策は、累計で3600億円超の規模に膨れ上がっていますが、更なる対応が必要な状況にあります。

引き続き、県民の命と健康、生活を守り、福山市並びに広島県の発展のため、様々な課題に対して全力で取り組んでまいりますので、皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

そして、元国会議員である河井夫妻による一昨年の参議院議員選挙での公職選挙法違反事件を巡り、地方議会に対し大きな政治不信を招いていることについて、地方政治に関わる者として、また、県議会議員として、大変残念に思っております。今後、県議会をはじめとする地方議会は、一つ一つ信頼を回復していかなければならず、私自身もそのための努力をしてみたいと考えています。

令和3年8月

### 《政治倫理》

一昨年の参議院議員選挙で起こった元国会議員の河井夫妻による公職選挙法違反事件は、自民党中央の関与など、様々な問題が絡み合っています。無論、大規模買収事件として、被買収側に首長や地方議会議員等が挙げられたことは、地方の政治倫理の確立を大きく揺るがしています。

広島県議会では、公判の中で現金を受け取ったとされた県議会議員が「広島県議会議員の政治倫理に関する条例」の行為規範に反する疑いがあるとして、一部の議員の請求によって本年3月に審査会が設置されました。5月には、審査会が13名の県議会議員に説明を求め、全員から状況説明や謝罪などがありましたが、現金を受け取った状況はそれぞれで大きく異なるものでした。その中には、一方的に現金を置いていかれた議員もおられました。審査は現在も継続しています。

この事件の根底として、自民党本部が1億5千万円という巨額の資金を河井夫妻側に提供した事実と、未だにその説明が一切されていないことに問題の本質があると思います。他にも、資金はこれだけなのか、誰が関わっていたのかなど、多くの疑問も残されています。